

7 情報モラルの指導力向上のための自己研修の研究

(1) 要約

◎テーマ	情報モラルの指導力向上のための自己研修の研究
◎副題	情報モラルに係る校内自己研修用 e-ラーニングコンテンツ作成
◎研究内容の要約	「情報モラルの指導法」、「個人情報の保護について」及び「学校と著作権」について、教員が必要としている知識を、e-ラーニングのシステムを利用して自己研修ができる研修教材コンテンツを作成する。
◎キーワード	情報モラル 個人情報の保護 著作権 自己研修 指導力向上

(2) 研究の概要

① 情報モラルの指導法に関する学校の現状と課題

情報モラルの指導は、その必要性が学習指導要領にも記述されるなど、社会から強く求められている。しかし、その指導方法については、未だ確立されているとは言えず、教員自身にとっても、これまでに経験したことのないようなことが起こっており、現状の把握と指導の方向性の知識を得るために、研修の機会を必要としている。

しかし、すべての教員に研修の機会を設けることは困難であると同時に、教員にとっても、授業に加えて校務が多忙な中、まとまった研修時間を捻出することが難しいのが現状である。今、研修機会を必要としている教員に、どのようにしてその機会を設けるかということが課題となっている。

② 課題を踏まえたアイデアのひとつとしての e-ラーニング

情報モラルの指導に関する知識のうち、ニーズの高い三つのテーマとして、「情報モラルの指導法」、「個人情報の保護について」及び「学校と著作権」がある。これらは、比較的知識伝達で身に付けられることが多く、また、項目ごとに短時間で学ぶことができる内容が多いことから、e-ラーニングによる短時間の講座の積み重ねが有効と考えられる。

府教育センターでは、このようなニーズに応えるため、平成 22 年度に作成した e-ラーニング教材作成ツールを活用し、この三つのテーマに沿った教材を作成した。



図1 研修教材のイメージ

③ 主な研究経過

(ア) 研究協力委員の委嘱（5月）

(イ) 全6回の担当者会議を実施（6月～8月）

A 全コンテンツの枠組みの計画及びコンテンツ内容決定方針の確認

- B 各コンテンツの構成の方針決定
- C 各回のテーマ決定及び読み上げ原稿確定
- (ウ) 撮影（8月）
- (エ) ビデオ編集等の作業（9月～12月）
- (オ) 研修コンテンツのモニタ受講を実施（12月～1月）
 - A 府立学校3校の教職員によるモニタ受講を依頼
 - B オンラインシステムによるアンケートの回収
- (カ) フィードバックを反映させたコンテンツの修正・新規作成の検討（1月～）

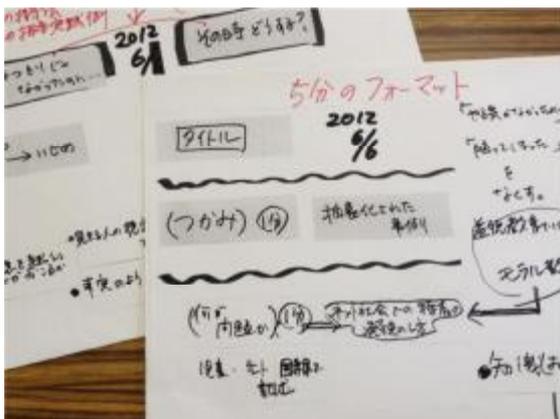


図2 構成の打合せシート

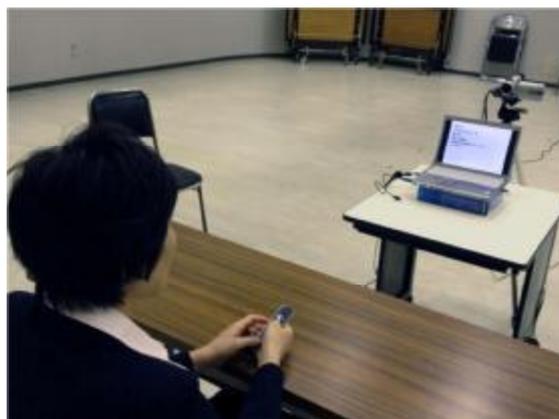


図3 撮影風景

④ 研修教材の活用計画

(ア) Web ページによる配信

- A 主コンテンツは Web ベースで作成
- B 府教育センター Web ページより府内外を問わず広く配信

(イ) 3 コンテンツに関連する研修での活用

- A 府教育センター研修受講前の予備研修として実施
- B 府教育センター研修及び市町村支援メニュー研修受講後の定着研修として実施
- C 初任者研修の手引等では「学校と著作権」コンテンツを紹介

⑤ まとめ

研修教材コンテンツは、すべてのテーマが約5分×10回の講座で完結し、必ずしも最初から順に受講する必要がないように構成している。これにより、学校での短い空き時間を活用した受講が可能になっている。すべての教員が自信を持って情報モラルの指導にあたることができるよう、知識と指導力の向上に、この研修教材が役立つことを期待している。

(3) 資料等

- | | |
|---------|--|
| ①問い合わせ先 | 大阪府教育センター 教育課程開発部 情報・技術研究室
〒558-0011 大阪市住吉区茱田4丁目13番23号 TEL 06-6692-1882 |
| ②研究成果物 | 情報モラルの指導力向上のための自己研修の研究
入手方法 Web ページに掲載 |